

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	19	脱衣室へ入るために段差があり、特に車椅子対応の方が不便なところがある	利用者様の負担なく入浴できる体制作り	車椅子対応の利用者様は機械浴を利用させていただき、歩行可能な利用者様のみ今までどおりの浴室を使用し、脱衣室や浴室への手摺を取り付けし、安全に入浴できるよう環境を整える	6ヶ月
2	2	中学生の職場体験の受け入れは行っているが、ボランティアの継続的な受け入れが出来ておらず、地域との関わりにおける区民展やスーパーへの作品展示などの取り組み案が出ているが実現されていない	ボランティアの継続的な受け入れと作品展示の実現化	市のボランティアセンターへ依頼し、定期的な催し(落語、ハーモニカ演奏、貼り絵や押し花教室など)を検討中 少なくとも月に一度程度で貼り絵や押し花教室での作品作成し、スーパーや他施設へ展示の依頼する。実現できれば、利用者様と見に出かけられるよう外出の機会にも利用したい また、ご家族にも協力を依頼しながら作品展示の場所を増やして、元気村のアピールをしていきたい	12ヶ月
3	5	エレベーターを出たところにアコーディオンカーテンがあり、来訪者が惑われることがある	来所されやすい、雰囲気作り	利用者様の離設予防にもなっているため、エレベーター内もしくはエレベーターへの入り口に装飾を行いアピールを行うと共に、エレベーター内に案内と必要性の掲示をし、理解を促す また、エレベーターまでの経路をもう少しわかりやすい案内図を表示する	6ヶ月
4	20	居室に私物が少なく、自宅の雰囲気を感じることが難しい	一人ひとりにあった居室の空間作り	私物をご家族へ依頼、なるべく自宅と同じような雰囲気が作れるようにする 利用者様が作られた作品や本人の写真、馴染みのある風景や家族の写真により利用者様が安心できる空間作りに努める	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。